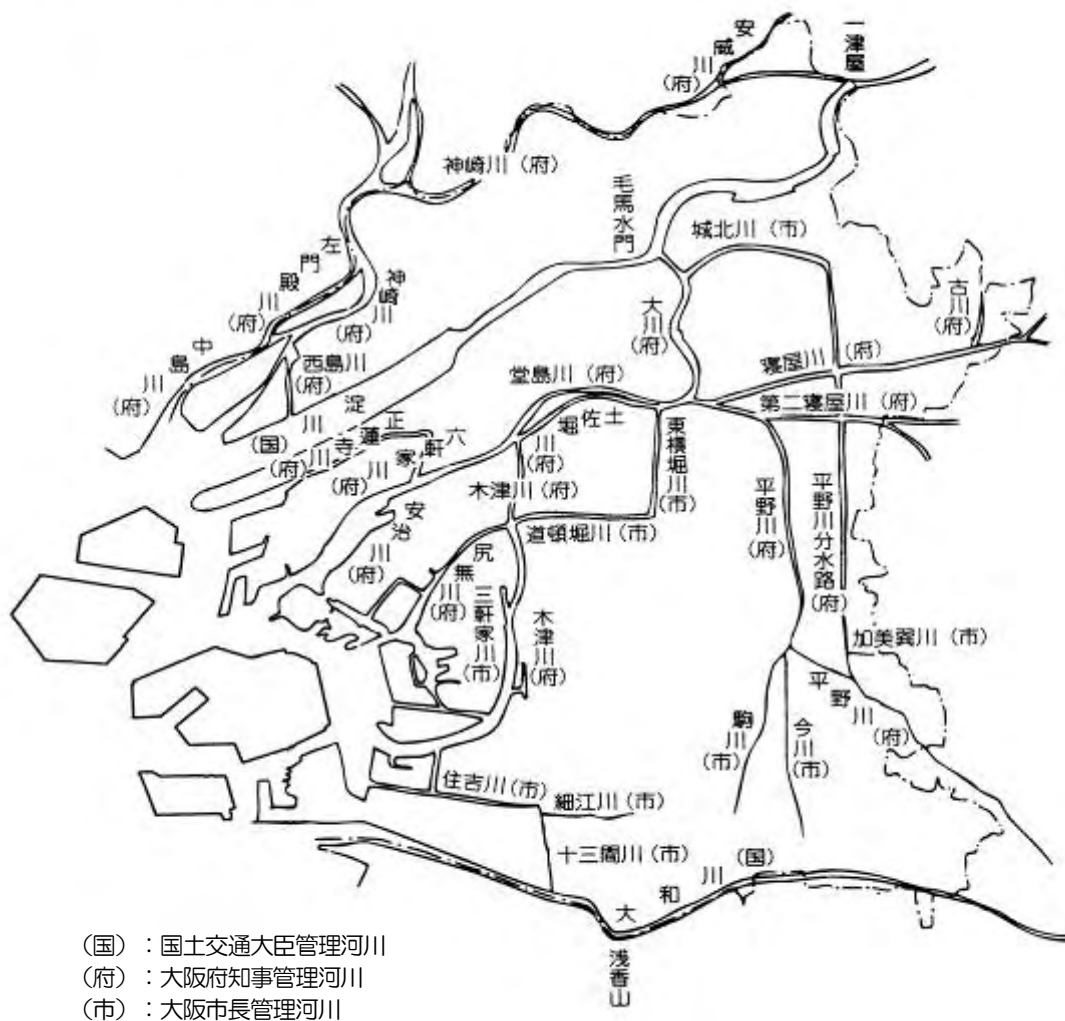


資料1-3-1 大阪市内河川管理図



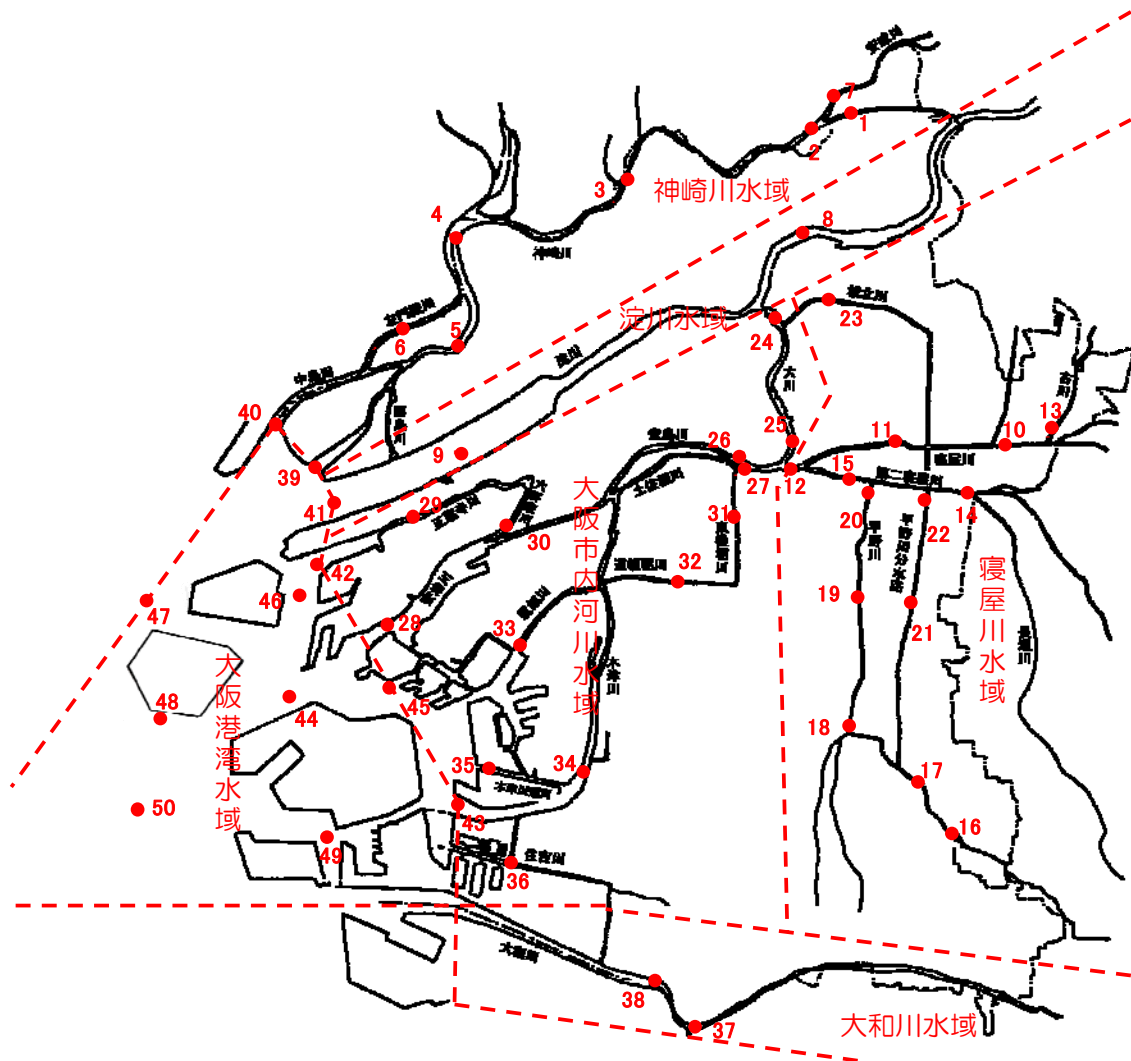
大阪市内河川分類表

淀川水系	本流	淀川		
	派流	神崎川水系	神崎川 左門殿川 中島川 西島川 安威川	
		旧淀川	大川	堂島川 安治川
			支流	寝屋川 第二寝屋川 城北川 平野川 平野川分水路 今川 駒川等 (以上寝屋川水系)
派流	土佐堀川 尻無川 木津川 東横堀川 道頓堀川			
大和川水系	本流	大和川		
その他の市内河川	正蓮寺川 六軒家川 住吉川 細江川 十三間川 三軒家川			

(注) 水系とは、本川・支川を含めた、ひとつながりの水の流れることで河川法により指定されている。

資料1-3-2 水質調査地点図

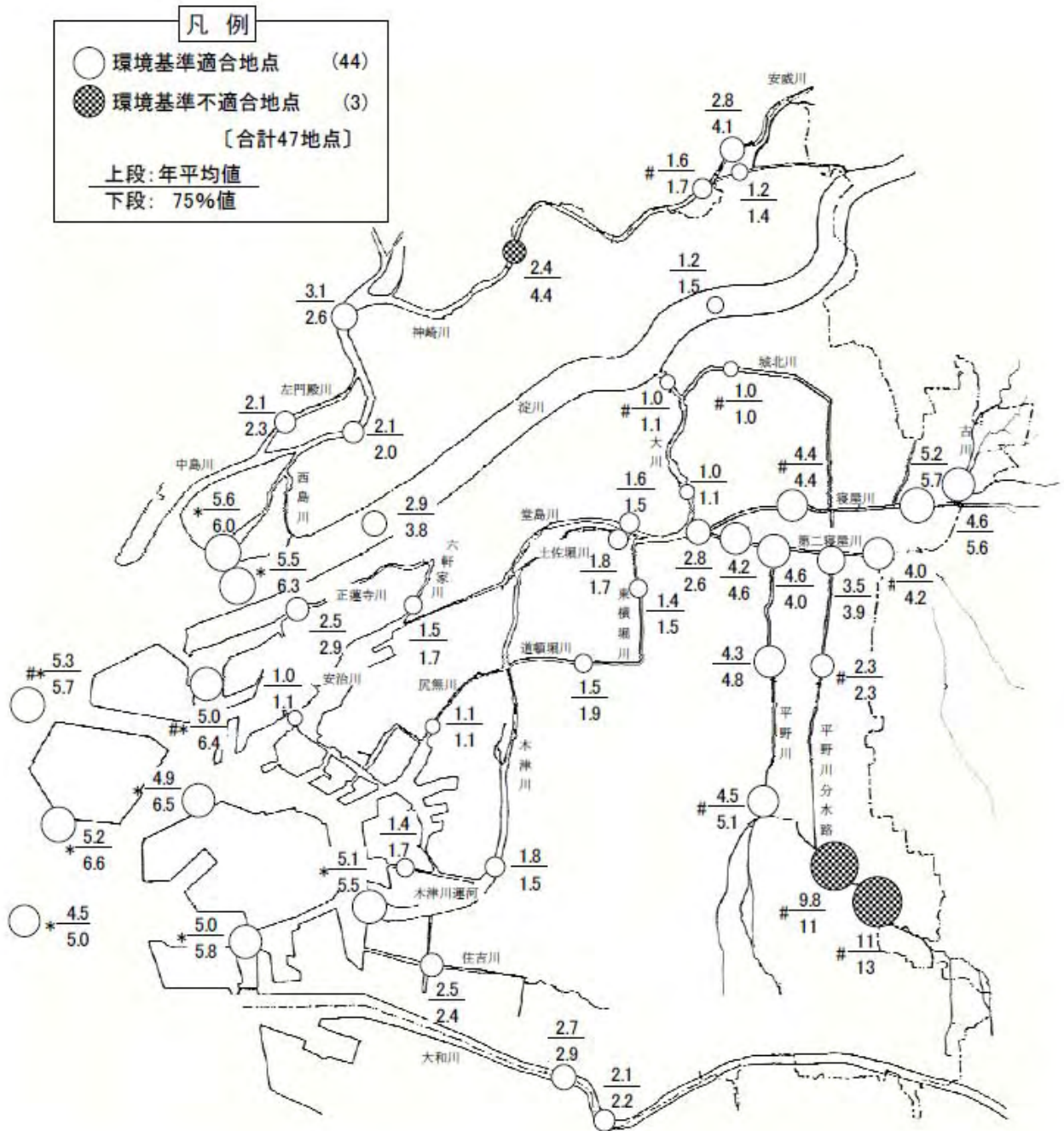
【計47地点（内大阪府実施5地点、近畿地方整備局実施4地点）】



No.	地点名	河川名	No.	地点名	河川名	No.	地点名	河川名	No.	地点名	河川名
△1	小松橋	神崎川	14	阪東小橋	第二寝屋川	28	天保山渡	安治川	△39	神崎川河口中央	大阪港(大阪湾)
2	吹田橋	〃	△15	下城見橋	〃	29	北港大橋	正蓮寺川	40	中島川河口	〃
③	新三国橋	〃	16	中竹洲橋	平野川	30	下流700m	〃	△41	淀川河口中央	〃
△4	神崎橋	〃	17	安泰橋	〃	31	春日出橋	六軒家川	△42	正蓮寺川河口	〃
⑤	千船橋	〃	18	睦橋	〃	32	本町橋	東横堀川	△43	木津川河口中央	〃
⑥	辰巳橋	〃(左門殿川)	△19	南弁天橋	〃	33	大黒橋	道頓堀川	△44	No.5パイ跡	〃
⑦	新京阪橋	安威川	20	城見橋	〃	34	甚兵衛渡	尻無川	45	第一号岸壁	〃
⑧	JR赤川鉄橋(柴島)	淀川	21	片一橋	平野川分水路	35	千本松渡	木津川	46	No.25ドルフィン	〃
⑨	伝法大橋	〃	22	天王田大橋	〃	36	船町渡	木津川運河	47	北港沖1000m	〃
⑩	今津橋	寝屋川	23	赤川橋	城北川	37	住之江大橋	住吉川	△48	大阪港関門外	〃
⑪	新喜多大橋	〃	24	毛馬橋	大川	38	下流1100m	〃	△49	南港	〃
⑫	京橋	〃	25	桜宮橋	〃	39	浅香新取水口	大和川	50	大阪湾C-3	〃
⑬	徳栄橋	古川	26	天神橋(右)	堂島川	40	遠里小野橋	〃			
			27	天神橋(左)	土佐堀川						

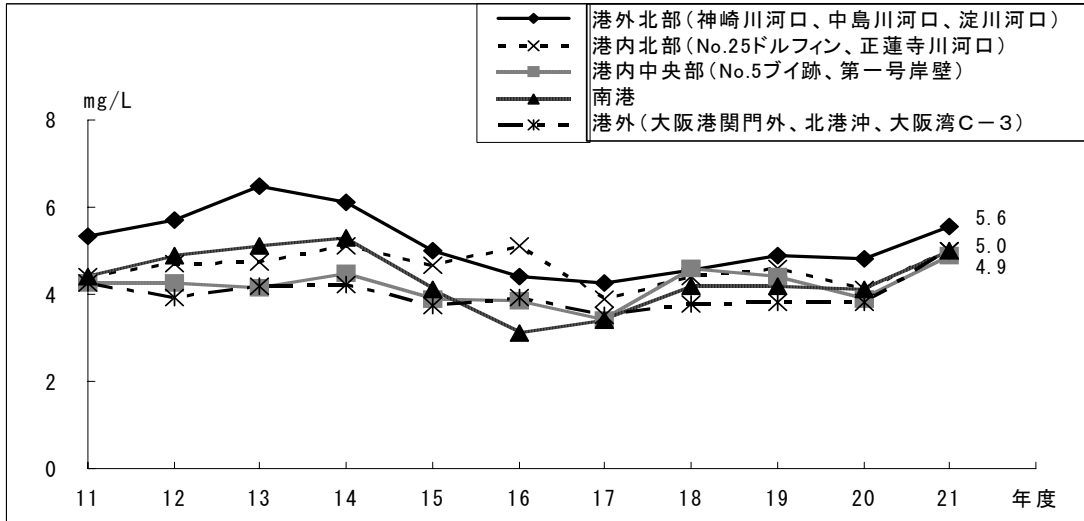
- (注) 1. No. 3, 4, 6, 7, 50は大阪府、No. 8, 9, 37, 38は近畿地方整備局がそれぞれ測定しています。
 2. 表中の数字No.の○は環境基準点、△は準環境基準点、それ以外は本市の独自地点です。
 3. 健康項目は環境基準点、準環境基準点において監視しています。
 4. 本市独自地点のNo. 40, 42, 45は、平成17年度以降、測定していません。

資料1-3-3 大阪市内水質汚濁状況（BOD又はCOD）（平成21年度）



1. *印のついた地点はCODで評価（それ以外はBODで評価）。
2. 河川はBODで評価し、河口地点及び海域はCODで評価した。
3. 環境基準適合とは年間を通じて日間平均値が環境基準を満足する割合が75%以上の場合をいう。
4. 測定地点は、水質汚濁防止法にもとづく大阪府公共用水域水質測定計画により定めた地点及び本市が独自に定めた地点（図中の#印）である。

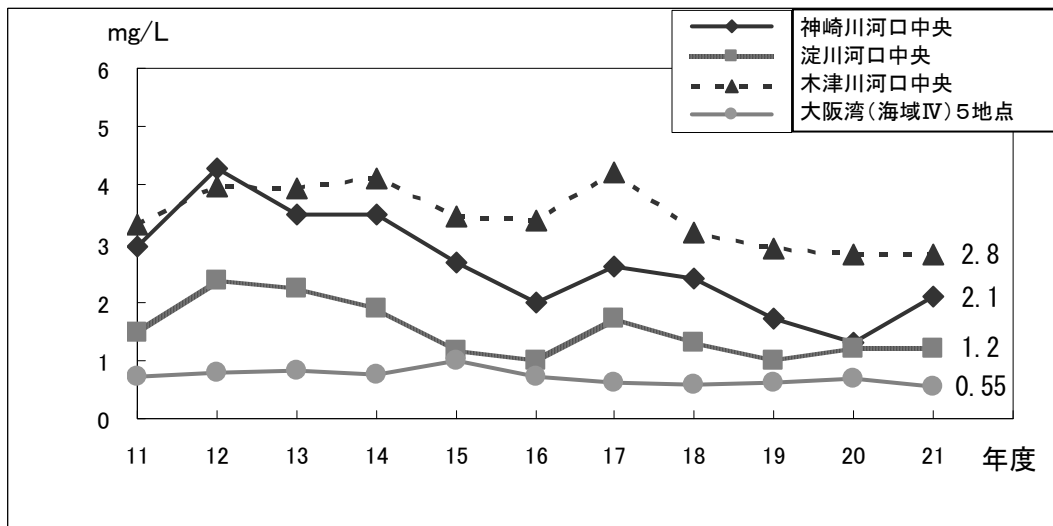
資料1-3-4 大阪湾水域におけるCODの経年変化（年平均値）



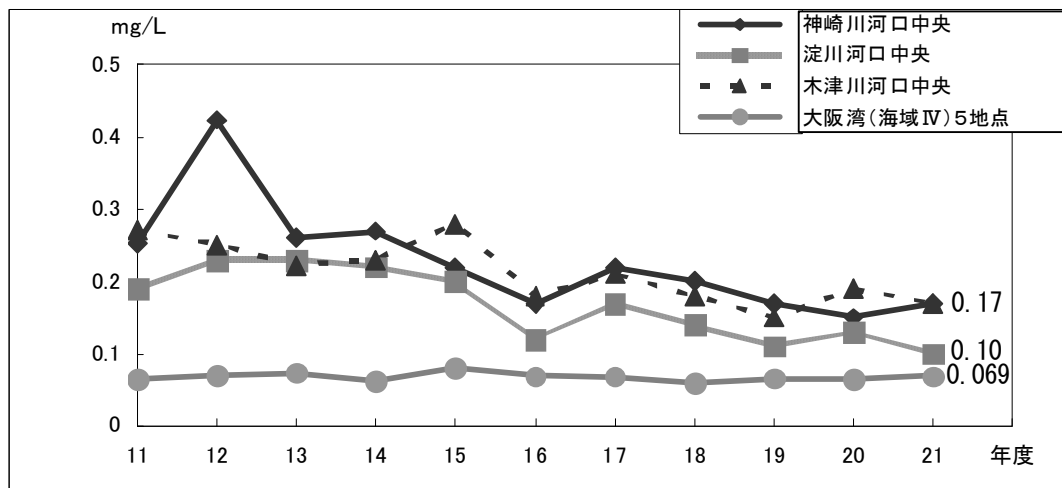
注) 中島川河口、正蓮寺川河口、第一号岸壁については平成17年度以降測定していません。

資料1-3-5 大阪湾（海域Ⅳ）と市内河口域の全窒素、全磷の経年変化（年平均値）

① 全窒素



② 全磷



注. 大阪湾(海域Ⅳ)5地点は、次の地点である。
 ・大阪湾C-3、C-4、C-5、西宮市沖、神戸市東部沖

資料 1-3-6 大阪市内公共用水域における水質調査結果（平成21年度）

① 河川（38地点）

No.	調査地点	河川名	類型	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)
1	小松橋	神崎川	B	7.3 ~ 7.9	9.7	1.2 (1.4)	3.7	7
2	吹田橋	"	B	7.3 ~ 7.9	8.3	1.6 (1.7)	5.1	8
3	新三国橋	"	B	7.0 ~ 8.5	7.9	2.4 (4.4)	6.0	7
4	神崎橋	"	B	7.1 ~ 8.5	9.1	3.1 (2.6)	6.4	6
5	千船橋	"	B	7.3 ~ 8.3	8.1	2.1 (2.0)	5.3	4
6	辰巳橋	" (左門殿川)	B	7.1 ~ 8.4	7.3	2.1 (2.3)	5.6	5
7	新京阪橋	安威川	C(B)	6.9 ~ 8.3	7.6	2.8 (4.1)	6.3	8
8	JR赤川鉄橋	淀川	B	7.5 ~ 7.8	9.1	1.2 (1.5)	3.7	6
9	伝法大橋	"	C	7.6 ~ 9.0	10	2.9 (3.8)	5.7	10
10	今津橋	寝屋川	D	6.9 ~ 7.5	5.3	5.2 (5.7)	8.6	8
11	新喜多大橋	"	D	7.0 ~ 7.6	5.0	4.4 (4.4)	7.8	7
12	京橋	"	D	6.8 ~ 7.8	6.9	2.8 (2.6)	6.0	6
13	徳栄橋	古川	D	6.9 ~ 7.5	4.4	4.6 (5.6)	7.7	10
14	阪東小橋	第二寝屋川	D	6.9 ~ 7.7	6.4	4.0 (4.2)	8.3	4
15	下城見橋	"	D	6.8 ~ 7.6	5.4	4.2 (4.6)	8.5	5
16	中竹渚橋	平野川	D	7.3 ~ 7.8	5.4	11 (13)	14	8
17	安泰橋	"	D	7.3 ~ 8.0	9.5	9.8 (11)	12	7
18	睦橋	"	D	7.0 ~ 7.8	7.5	4.5 (5.1)	10	6
19	南弁天橋	"	D	6.8 ~ 7.5	3.9	4.3 (4.8)	9.8	8
20	城見橋	"	D	6.7 ~ 7.5	4.5	4.6 (4.0)	8.9	7
21	片一橋	平野川分水路	D	6.8 ~ 7.7	6.6	2.3 (2.3)	9.0	4
22	天王田大橋	"	D	6.6 ~ 7.4	5.9	3.5 (3.9)	8.6	4
23	赤川橋	城北川	B	7.3 ~ 8.0	9.4	1.0 (1.0)	3.5	7
24	毛馬橋	大川	B	7.4 ~ 7.9	9.7	1.0 (1.1)	3.4	7
25	桜宮橋	"	B	7.0 ~ 7.9	9.6	1.0 (1.1)	3.5	7
26	天神橋（右）	堂島川	B	7.0 ~ 7.8	8.3	1.6 (1.5)	4.3	7
27	天神橋（左）	土佐堀川	C	7.0 ~ 7.7	8.0	1.8 (1.7)	4.6	7
28	天保山渡	安治川	B	7.5 ~ 8.1	7.1	1.0 (1.1)	3.9	3
29	北港大橋 下流700m	正蓮寺川	C(B)	7.2 ~ 8.2	6.4	2.5 (2.9)	6.3	4
30	春日出橋	六軒家川	B	7.2 ~ 8.5	8.4	1.5 (1.7)	4.8	5
31	本町橋	東横堀川	C(B)	7.1 ~ 7.6	6.1	1.4 (1.5)	4.8	6
32	大黒橋	道頓堀川	B	6.9 ~ 7.7	6.0	1.5 (1.9)	4.9	6
33	甚兵衛渡	尻無川	C(B)	7.1 ~ 7.9	6.5	1.1 (1.1)	4.1	4
34	千本松渡	木津川	C(B)	7.1 ~ 7.8	6.3	1.8 (1.5)	4.4	3
35	船町渡	木津川運河	C(B)	7.3 ~ 8.4	8.1	1.4 (1.7)	5.1	3
36	住之江大橋 下流1100m	住吉川	C(B)	7.0 ~ 7.7	5.6	2.5 (2.4)	8.0	3
37	浅香新取水口	大和川	C	7.9 ~ 8.4	10	2.1 (2.2)	6.3	11
38	遠里小野橋	"	D	7.7 ~ 8.3	9.7	2.7 (2.9)	6.7	11

注1. 数値は年平均値である。（但し、pHは最小～最大を示す。）

2. 類型欄の（ ）内は、平成21年6月30日付大阪府告示第118号による新しい類型を示す。

3. BOD欄の（ ）内の数値は、日間平均値の年間75%値を示す。

② 海 域 (12 地点)

No.	調査地点	類型	pH	DO (mg/L)	COD (mg/L)	BOD (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	油分 (mg/L)
39	神崎川河口中央	C	7.6~8.3	7.0	5.6 (6.0)	2.3	2.1	0.17	—
40	中島川河口	C	—	—	—	—	—	—	—
41	淀川河口中央	C	7.8~8.7	9.1	5.5 (6.3)	2.5	1.2	0.10	—
42	正蓮寺川河口	C	—	—	—	—	—	—	—
43	木津川河口中央	C	7.4~8.6	7.1	5.1 (5.5)	1.9	2.8	0.17	—
44	No.5 ブイ跡	C	7.8~8.9	9.1	4.9 (6.5)	2.1	1.3	0.11	—
45	第一号岸壁	C	—	—	—	—	—	—	—
46	No.25 ドルフィン	C	8.0~9.0	9.6	5.0 (6.4)	2.6	1.2	0.095	—
47	北港沖 1,000m	C	8.2~9.1	9.0	5.3 (5.7)	2.9	0.77	0.073	—
48	大阪港関門外	C	8.0~8.8	8.5	5.2 (6.6)	2.9	0.78	0.074	—
49	南 港	C	7.9~9.0	8.8	5.0 (5.8)	3.2	1.1	0.096	—
50	大阪湾 C-3	C	8.1~8.8	9.0	4.5 (5.0)	—	0.90	0.10	N.D.

注. 表中の数値は、表層における測定値である。

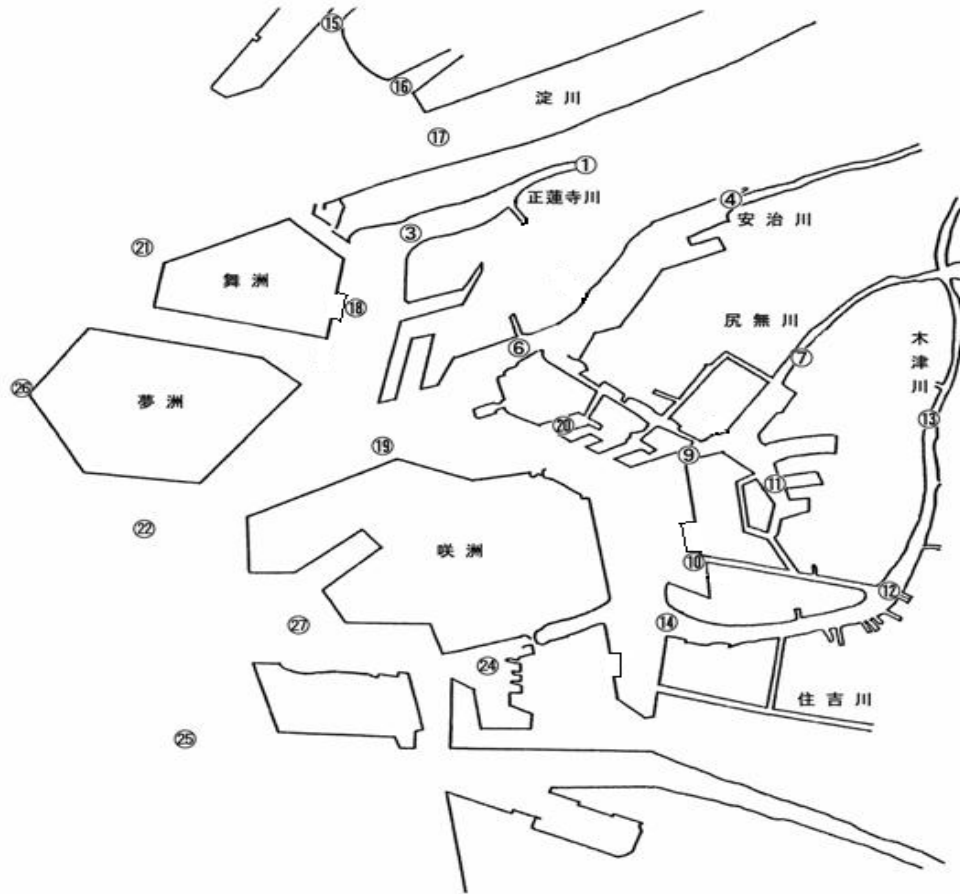
資料 1-3-7 大阪市内河川底質調査結果 (平成21年度)

(乾燥重量値)

調査地点	河川名	含水率 (%)	pH	総水銀 (mg/kg)	アルキル水銀 (mg/kg)	PCB (mg/kg)
千船橋	神崎川	50	7.6	0.52	<0.01	0.78
大黒橋	道頓堀川	48	7.2	1.4	<0.01	1.7
天保山渡	安治川	66	7.7	1.1	<0.01	0.34
甚兵衛渡	尻無川	53	7.4	0.97	<0.01	1.1
千本松渡	木津川	59	7.4	1.9	<0.01	2.0

【試料採取:平成21年5月18日】

資料1-3-8 大阪港港湾区域内底質調査地点図



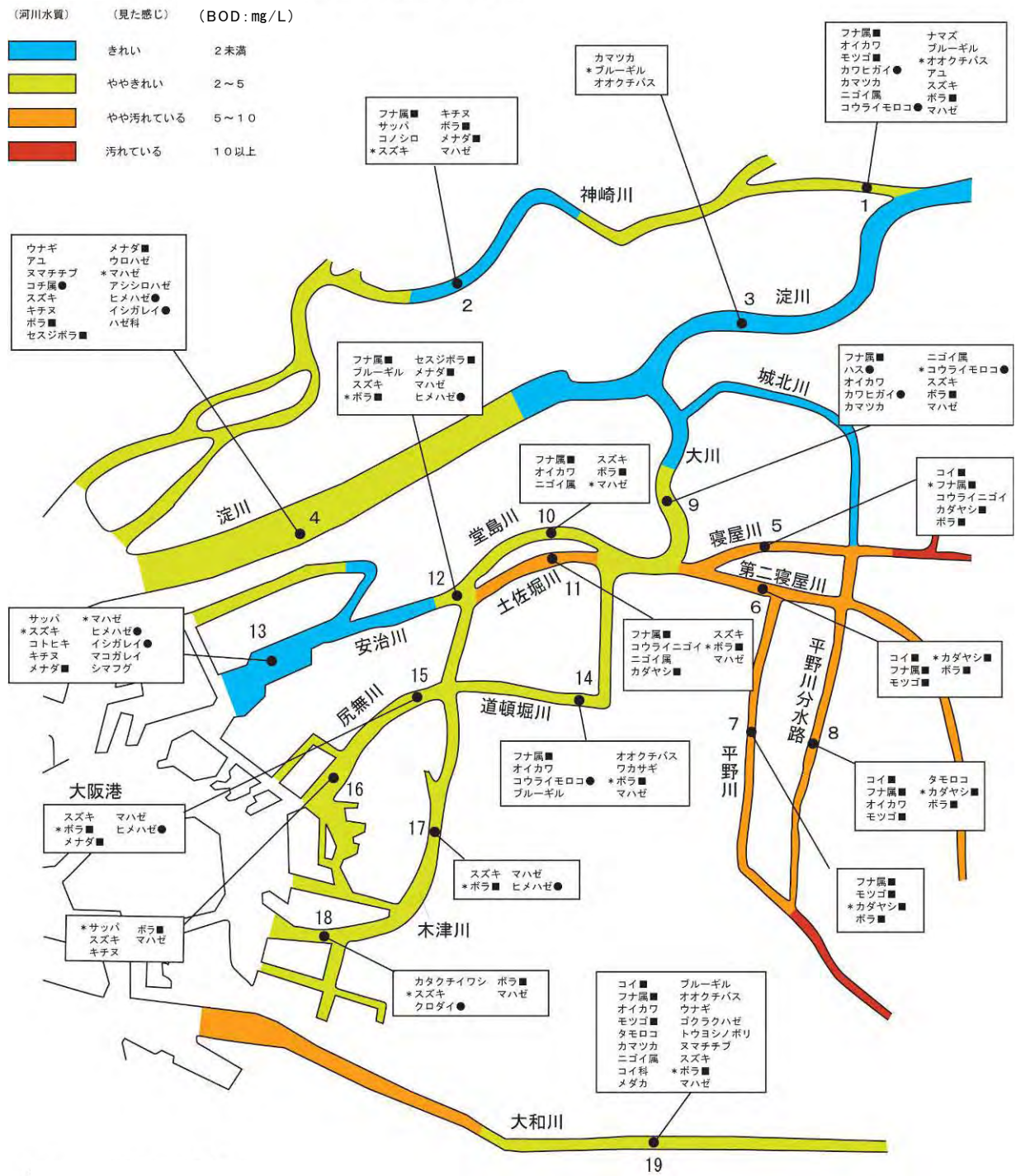
資料1-3-9 大阪港港湾区域内底質調査結果(平成21年度)

項目 地点名	含水率 (%)	強熱減量 (%)	pH	CODsed (mg/kg)	硫化物 (mg/kg)	アルキル水銀 化合物 (mg/kg)	水銀又は その化合物 (mg/kg)	カドミウム又は その化合物 (mg/kg)	鉛又は その化合物 (mg/kg)	六価クロム 化合物 (mg/kg)	ヒ素又は その化合物 (mg/kg)	シアン化合物 (mg/kg)	PCB (mg/kg)
① 正蓮寺川上	80.7	20.5	7.3	89000	6400	<0.01	1.1	1.9	90	<2	12	<1	—
③ 正蓮寺川下	68.5	9.0	7.8	31000	2000	<0.01	1.5	1.2	73	<2	17	<1	—
④ 安治川上	67.8	12.8	7.3	40000	3300	<0.01	0.93	1.6	73	<2	10	<1	0.58
⑥ 安治川下	67.8	10.4	7.5	30000	1900	<0.01	1.1	1.6	69	<2	16	<1	0.39
⑦ 尻無川上	63.9	14.0	7.1	45000	7500	<0.01	3.0	9.6	240	<2	21	3	5.4
⑨ 尻無川下	67.3	9.4	7.6	32000	4700	<0.01	1.4	3.1	140	<2	21	<1	0.62
⑩ 木津川運河	73.7	10.0	7.6	38000	3700	<0.01	1.7	1.6	89	<2	16	<1	—
⑪ 大正内港	58.8	8.4	7.5	23000	3300	<0.01	1.3	2.5	91	<2	22	<1	—
⑫ 木津川中	65.6	14.2	7.3	41000	9800	<0.01	4.3	11	370	<2	25	2	—
⑬ 木津川上	69.1	16.0	7.3	53000	6300	<0.01	1.5	3.9	140	<2	13	1	1.4
⑭ 木津川下	69.4	9.2	7.6	25000	3000	<0.01	1.3	2.0	85	<2	17	<1	—
⑮ 中島川河口	62.7	11.0	7.3	35000	2400	<0.01	0.77	2.2	90	<2	17	<1	—
⑯ 神崎川河口	61.0	10.7	7.7	30000	2300	<0.01	0.49	0.86	39	<2	9.2	<1	—
⑰ 淀川河口	53.0	7.9	7.4	25000	1400	<0.01	0.30	0.32	21	<2	6.4	<1	—
⑱ 洲東沖	70.8	9.7	7.7	26000	2300	<0.01	0.72	0.79	62	<2	13	<1	—
⑲ 咲洲北沖	69.7	9.6	7.8	23000	1400	<0.01	0.65	0.63	54	<2	12	<1	—
⑳ 第1号岸壁	68.3	10.3	7.8	26000	4000	<0.01	1.3	2.6	170	<2	24	<1	—
㉑ 舞洲西沖	66.5	9.7	7.7	27000	1600	<0.01	0.52	0.74	49	<2	13	<1	0.14
㉒ 夢洲南沖	70.3	10.6	7.6	40000	1400	<0.01	0.61	0.57	48	<2	13	<1	—
㉓ 南港内港	64.3	9.4	7.7	33000	1900	<0.01	0.54	0.75	53	<2	14	<1	—
㉔ 南埠頭沖	68.9	10.1	7.5	39000	2000	<0.01	0.53	0.55	49	<2	13	<1	0.05
㉕ 夢洲西沖	65.6	9.7	7.6	33000	1200	<0.01	0.57	0.54	52	<2	12	<1	—
㉖ 中埠頭沖	63.8	8.8	7.7	28000	1100	<0.01	0.78	0.47	50	<2	15	<1	—

資料 1 - 3 - 10 市内河川魚類生息状況調査結果（平成18年度）

項 目	調 査 結 果
① 調査時期	春季調査 平成18年5月（5日間） 夏季調査 平成18年8月（5日間） 秋季調査 平成18年11月（5日間） 冬季調査 平成19年2月（6日間） ※冬季調査は天候不良の影響により、予定より1日延長しました。
② 調査場所	大阪市内河川水域 19地点
③ 調査結果	ア. 今回の調査で生息が確認された魚種は、18科39種3,660個体でした。 （魚類の分布は資料1-3-11） イ. 今回の調査で多くの種類が確認された地点は、大和川（17種）、神崎川上流（14種）、淀川下流（14種）でした。 ウ. 前回の調査（H13年度）で初めて魚類の生息が確認された寝屋川や第二寝屋川では、引き続き魚類の生息が確認されました。 エ. 今回新たに調査地点に加えた平野川や平野川分水路では、魚の生息が確認されました。 オ. これまでの調査では、ボラ類やスズキなどの遊泳魚のみが採取されていた河口域で底生魚であるハゼ類が新たに確認されました。 カ. 四季別では、これまでの調査結果と同様に、春季及び夏季の採集個体数、魚種数は多く、秋季及び冬季の採集個体数、魚種数は少なくなる傾向を示しました。
④ 魚類の生息状況の変化	ア. 《河川ごとの魚種数の特徴》 魚類の確認種数が多い地点は、大和川（17種）、神崎川（14種）、淀川下流（14種）でした。一方確認種数が少ない地点としては、平野川（4種）、木津川上流（4種）、淀川上流（3種）でした。 イ. 《河川ごとの魚種の増減傾向》 前回（H13年度）と比較して確認種数が増加した地点は、安治川上流（5→8種）、安治川河口（9→10種）、尻無川河口（4→5種）など汽水域（淡水と海水が混じりあった薄い海水域）の地点で主に底生魚が新たに確認されました。 ウ. 《指標種の変化》 きれいな水質の指標種であるコウライモロコは前回（H13年度）と比べると4地点から3地点に、ハスは6地点から1地点へと減少しました。これらの地点では、特にDO（溶存酸素量）やBOD、その他の物理環境の悪化はみられないことから、水質環境の悪化を示すものではないと推測されます。
⑤ 河川ごとの特徴	ア. 《神崎川》 上流域では、前回の調査（H13年度）ではオイカワ、コウライモロコなど小型淡水性在来魚が多く確認されてましたが、今回の調査では、オオクチバスやブルーギルの外来魚が多く確認されました。下流域では、ボラ、スズキなどの汽水性海水魚がみられました。 イ. 《淀川》 上流域では、前回の調査（H13年度）ではオイカワ、コウライモロコなど小型淡水性在来魚が多く確認されてましたが、今回の調査では、オオクチバスやブルーギルの外来魚が多く確認されました。下流域では、マハゼ、ボラ、スズキなどの汽水性海水魚がみられました。 ウ. 《寝屋川・第二寝屋川》 前回の調査（H13年度）では、モツゴ、カダヤシなど比較的汚濁に強い淡水魚が確認されましたが、今回も引き続き確認されました。 エ. 《平野川・平野川分水路》 カダヤシ、モツゴ、フナ属など比較的汚濁に強い魚類の生息が確認されました。平野川分水路では、これらの比較的汚濁に強い種に加え、これらより、やや水質が良くなければ生息しないオイカワが採取されました。 オ. 《大阪市内河川》 道頓堀川でもオオクチバスとブルーギルの外来魚が確認されました。しかし、きれいな水質にすむコウライモロコは四季を通じて確認されたことから、水質は比較的良好なまま維持されていると考えられます。 また大川では、きれいな水質にすむコウライモロコ、オイカワが多く採取されたことから水質は良好と考えられます。 安治川、尻無川、木津川など汽水域では、スズキ、ボラなど汽水海水魚が多く確認されました。また今まで確認できなかった底生魚が確認されました。 カ. 《大和川》 前回調査と同様コイ、モツゴ、オイカワなど豊かな魚類相が確認されました。

資料 1 - 3 - 11 市内河川の魚類の分布

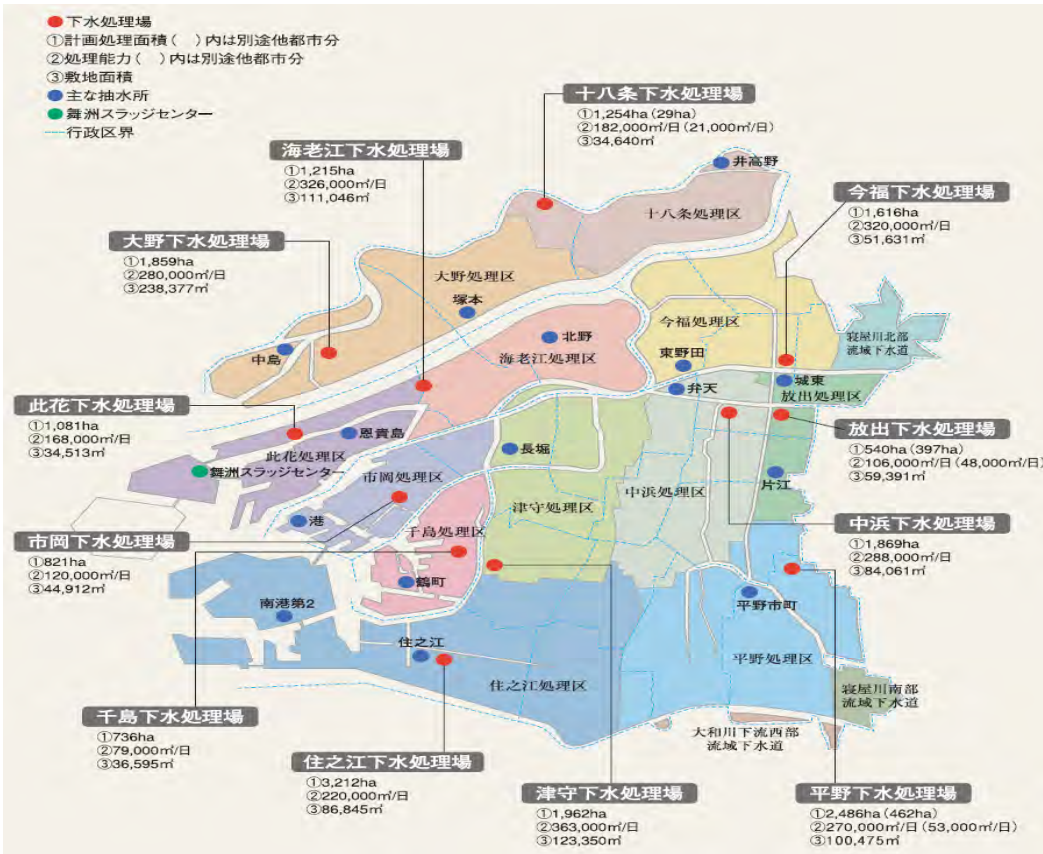


備考：河川のBODは平成17年度の値を使用した。
大阪市内公共用水域水域測定結果（平成17年度）

- 注1. *は各地点において最も個体数の多かった種を表します。
 2. ●は清浄な水質を代表する種、■は汚濁した水質でも生きられる種を表します。
 3. 淀川下流でのハゼ科、大和川でのコイ科は稚魚であるため種の同定が困難であることを示します。
 そのため種数には計上していません。

資料 1-3-12 下水処理区と下水処理場

市内は、12の下水処理区と3つの流域下水道の区域に分けられています。



資料 1-3-13 水域別・行政区別・法律条例適用事業場数 (平成22年3月末)

	行政区	瀬戸内海環境保全 特別措置法	水質汚濁防止法	大阪府生活環境の 保全等に関する条例	計
神崎川	西淀川	2	17		19
	淀川	1	1		2
	東淀川		1		1
大阪市内河川	北		2		2
	福島		2		2
	此花	1	24		25
	港		2		2
	大正	5	8		13
	住之江	1	3		4
寝屋川	西成		1	1	2
	旭	1			1
	城東	1	3		4
	鶴見	1			1
大和川	中央		1		1
	平野		1		1
計		13	72	1	86

(注) 1. 水域区分は、水質汚濁防止法第3条第3項の規定による排水基準を定める条例に基づきます。
2. 大阪市内12下水処理場を含みます。

資料 1-3-14 立入指導等の状況 (公共用水域へ排水を排出する工場・事業場)

(平成21年度)

	立入工場 件数	基準超過 事業場数	排水の一時 停止命令	改善命令	改善勧告	その他指示
法律対象	63	1	0	0	0	1
条例対象	0	0	0	0	0	0
合計	63	1	0	0	0	1

(注) 大阪市内12下水処理場を含みます。

資料 1-3-15 水質関係 法律・条例届出受理件数(平成21年度)

水域	法律・条例	瀬戸内海環境保全 特別措置法	水質汚濁防止法	大阪府生活環境の 保全等に関する条例
淀川		1		
神崎川上流				
神崎川下流		1	3	
寝屋川				
大阪市内河川		13	19	1
大和川上流			4	
合計		15	26	1

資料 1-3-16 特定事業場・除害施設必要事業場数(平成22年3月末)

行政区	特定事業場数	除害施設必要事業場数 (非特定事業場を含む)
北	232	188
都島	102	65
福島	102	69
此花	122	123
中央	160	145
西	110	73
港	111	65
大正	109	83
天王寺	86	55
浪速	78	43
西淀川	190	212
淀川	276	185
東淀川	165	102
東成	197	150
生野	315	147
旭	100	51
城東	209	134
鶴見	119	95
阿倍野	137	37
住之江	165	146
住吉	114	46
東住吉	189	75
平野	269	179
西成	155	99
合計	3,812	2,567

資料 1-3-17 立入指導等の状況(公共下水道へ排水を排出する工場・事業場)(平成21年度)

工場立入件数	6,297
基準超過工場数	123
排水の一時停止命令	0
改善命令	0
改善勧告	2
その他指示	121